

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 もりもりめろん広場

公表日 2026年 3月 6日

利用児童数 2025年 12月 28日

回収数 44名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	98%	0%	0%	2%	1対1での対応で丁寧に接して下さっています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	95%	2%	0%	2%		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	91%	9%	0%	0%		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	95%	2%	0%	2%		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	95%	2%	0%	2%		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	98%	2%	0%	0%		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	93%	2%	0%	5%	ペアトレに参加させていただき、家での困りごとの解決につながりました。ありがとうございました。	来年度も実施予定です。ぜひご参加ください。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	95%	5%	0%	0%		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	82%	9%	0%	9%		
保護者 への 説明等	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	55%	5%	2%	39%		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	98%	2%	0%	0%		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%	0%	0%	0%		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	91%	0%	0%	9%		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができてきていると思いますか。	98%	2%	0%	0%		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	98%	2%	0%	0%		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	64%	2%	2%	32%	兄弟向けのイベントがあれば	・きょうだい向けのイベントはなかなか開催できておりません。申し訳ありません。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	86%	5%	0%	9%		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	93%	0%	0%	7%		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	98%	2%	0%	0%		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	93%	2%	0%	5%		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	98%	0%	0%	2%		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	95%	2%	0%	2%		
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	86%	0%	0%	14%		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%	0%	0%	0%		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	89%	11%	0%	0%		
	29	事業所の支援に満足していますか。	98%	0%	0%	2%		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		もりもりめろん広場		公表日		2026年 3月 6日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%			
	2	職員の配置数は適切であるか。	100%	0%			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	100%	0%			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	100%			
	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%			
業務改善	6	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げているか。	100%	0%			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともにその結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所のホームページ等で公開しているか。	100%	0%			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	100%			
	9	職員の資質の向上を図るために、研修の機会を確保しているか。	100%	0%			
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	100%	0%	検査その他で評価を行っている		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%	0%			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	88%	13%			
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	100%	0%			
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%			
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%			
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	88%	13%				
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	86%	14%	相談支援員と担当者が連携をとっている		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	0%	100%		なし	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行っているか。	0%	100%		なし	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	0%	100%		なし	
	25	移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	0%	100%		移行支援としては行っていない	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	0%	100%			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%	0%			
	28	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、障がいの無い子どもと活動する機会があるか	0%	100%		なし	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	100%	100%			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%			
保護者への説明等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか。	100%	0%	希望者を募り、実施している		
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の狙い及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%			
	34	定期的に、保護者等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%			
	35	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%			
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%			
	38	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%		機会なし	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	0%	100%		対象児なし	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	100%	0%			

46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%		
	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	もりもりめろん広場(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	令和7年11月1日	～	令和7年12月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 61名	(回答者数)	44名
○従業員評価実施期間	令和8年1月29日	～	令和8年1月30日
○従業員評価有効回答数	(対象者数) 8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 21日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○多職種での支援、専門職の配置 保育士、言語聴覚士、作業療法士、公認心理師など、多職種が連携して支援を行う体制を整えている。	○専門職による支援 それぞれの職種の長所を活かした支援を行う中で、お子さまに様々な学習の機会を提供できている。 定期的に研修を実施し、療育の質の向上を目指している。	○保護者を交えた支援 お子さまの様子について保護者さまと情報交換を行うことで、特性や支援の方法について考えるきっかけを作っていく。 また、ご自宅などで実践できる遊びのアイデアなどもお伝えしながら、お子さまの成長を共に喜び合えるようにしていく。
2	○多様な支援スタイル 個別、小集団と、両輪での支援が可能なが強みである。	運動面、言語面で気になる点があれば、個別の時間を設定して、個別でのアプローチをしている。 また、超早期療育も行い、個々に合わせた支援ができている。	
3	○部屋数が多く、庭がある 各課題に応じて部屋を使い分けることができるため、集中して課題に取り組むことができる。また、部屋を移動することで、気持ちの切り替えをしやすい。 庭があるため、砂遊びや広い空間での運動も行うことができている。	○部屋を使い分けた支援 例えば年長を対象にしたプレ小学校の時間には、体育、音楽、学活をする部屋を分けるなど、時間割ごとに部屋を移動することで、実際の小学校を想定した支援が可能である。	○構造化の環境設定を作りやすくする アセスメントを行い、それぞれのお子さまに合った構造化を図っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○非常時等の対応 安全を確保するための計画について、周知が不十分な面がある。	○説明の回数が少ない 契約時、重要事項説明書に沿って話をしているが、この件について定期的に話をするわけではない。	避難訓練を行ったら、掲示物等でお知らせすること、また、安全計画等についても、同時にお伝えしていけるようにしていく。
2			
3			